

**ASTECC**<sup>®</sup>  
· P A I N T S ·



# ホワイトフィラー A

水性形一液可とう形外壁用アクリル系下地調整材

# WHITE FILLER A



# ASTEC®

PAINTS

水性形一液可とう形外壁用アクリル系下地調整材

## ホワイトフィラーA

コンクリート・モルタル※・ALC・窯業系サイディング  
(2回目以降の塗替えの場合のみ)・各種旧塗膜

※既存塗膜の劣化が著しい場合、又は既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。

施工  
方法

- ① 「ホワイトフィラーA」を標準施工仕様に従って1回塗りで塗布する。
- ② 各種上塗材を仕様に従って施工する。



### 試験結果

#### ■JIS A 6909 建築用仕上塗材

『低温安定性』『初期乾燥によるひび割れ抵抗性』『付着強さ』『温冷繰返し』『透水性B法』『耐衝撃性』『ひび割れ充てん性』『耐候性A法』『可とう性』 全て合格

### 標準施工仕様

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	ホワイトフィラーA	16kg	—	1.0~1.3ℓ(清水)	0.30~0.50kg/m <sup>2</sup>	1	—	水性上塗材仕上の場合:4時間以上 溶剤上塗材仕上の場合:8時間以上	—	ウールローラー
				0.5~0.8ℓ(清水)	0.80~1.0kg/m <sup>2</sup>			16時間以上		多孔質ローラー
				1.3~2.0ℓ(清水)	0.60~1.0kg/m <sup>2</sup>					ジュラクガン

### 下地調整

- 劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- 漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- 塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- 劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

### 施工上の注意

- 雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- 5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- 使用する前に塗料を十分に攪拌してください。
- ウールローラー施工の場合、塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限值を目安にしてください。
- 上記塗布量及び塗回数は下地の材質・状態等で増える場合があります。
- 既存塗膜の劣化が著しい場合、又は既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。

### 製品データ

荷姿	16kg
塗布量	ウールローラーの場合:0.30~0.50 kg/m <sup>2</sup>
	多孔質ローラーの場合:0.80~1.0 kg/m <sup>2</sup>
	ジュラクガンの場合:0.60~1.0 kg/m <sup>2</sup>
希釈	ウールローラーの場合:1.0~1.3ℓ(清水)
	多孔質ローラーの場合:0.5~0.8ℓ(清水)
	ジュラクガンの場合:1.3~2.0ℓ(清水)
色	白

ver.201706

製品については下記までお問い合わせください。



製造元 株式会社アステックペイントジャパン

福岡本社/〒811-2233 福岡県糟屋郡志免町別府北4-2-8

東京営業所/〒102-0071 東京都千代田区富士見1-6-1-10F

大阪営業所/〒532-0011 大阪府大阪市淀川区西中島6-5-3 B1

沖縄営業所/〒901-2223 沖縄県宜野湾市大山2-1-6

[www.astec-japan.co.jp](http://www.astec-japan.co.jp)